

へいせい ねん ど だい かいかわさき く く みんかい ぎ ぶかいてきろく
平成26年度第2回川崎区区民会議だれもがいきいき暮らす部会摘録

にち じ へいせい ねん がつ にち か ごご じ ぶん
日 時：平成26年7月22日（火）午後6時30分

ば しょ かわさきく やくしょ かいかい ぎしつ
場 所：川崎区役所7階会議室

しゅつせきしや けいしやうりやく
出席者（敬称略）

い いん めい
委員 10名

あらい と き こ あらまきゆうこ いしわたかつろう ちねん じょ あん な なかむらきみこ ぼくちゃんほ
新井トキ子、荒巻裕子、石渡勝朗、知念ジョアンナ、中村紀美子、朴昌浩、
はたとしお はらちよこ もりわきたくろう やまだよしとか
畑敏雄、原千代子、森脇卓郎、山田義孝

さん よ にん
参与 0人

ぼうちやう にん
傍聴 0人

1 かいかい
開会

じむきょく かいぎ せいりつ かいぎ こうかい かいぎ じぜんこうひやう かいぎろく てきろくこうひやう てきろく
事務局＜会議の成立、会議の公開、会議の事前公表、会議録の摘録公表、摘録の
かくにん しゃしんさつえい せつめい ぼうちやう う む かくにん はいふしりやう かくにん
確認、写真撮影を説明。傍聴の有無の確認。配布資料の確認＞

2 しょくむだいいりしや しめい
職務代理者の指名

じむきょく ぶかいちやう しめい むね せつめい
事務局＜部会長から指名する旨の説明。＞

はらぶかいちやう いしわたいいん ねが おも
原部会長 石渡委員にお願いしたいと思ひます。

3 ぎだい
議題

だい かいせんもんぶかい しんぎないやう かくにん くみんかいぎ とりく かだい しほ こ
（1）第1回専門部会の審議内容の確認と区民会議で取組みたい課題の絞り込みに

ついで

はらぶかいちやう ぎだい しんぎかだい しほりこ じむきょく しりやう せつめい ねが
原部会長 議題1「審議課題の絞り込みについて」、事務局から資料の説明を願ひ
します。

じむきょく しりやう しりやう せつめい
事務局＜資料1、参考資料1～9について説明＞

はらぶかいちやう しりやう しつもん しりやう ほそく
原部会長 資料についての質問や資料の補足などがありますか。

ちねん いいん がいこくじんしみんだいひやうしゃかいぎ あん けー と
知念委員 外国人市民代表者会議でもアンケートするということでしたが、どう
でしょうか。

ぼくいん くみんかいぎ がいこくじんしみんだいひやうしゃかいぎ おこな かさ
朴委員 区民会議と外国人市民代表者会議で行っていることが重なっていると

いうことや、川崎市のアンケートも重なっていると思います。このため、外国人
市民代表者会議の委員長に来てもらって話を聞いてみてはどうでしょうか。

原部会長 外国人市民意識実態調査を資料として出してほしいという要望を上
げたのは私です。このアンケートは外部の委員も入って計画されたものです。
市の施策に基づいて実施されています。

知念委員 いろいろな言葉でアンケートをすることになるのでしょうか。

原部会長 多言語でアンケートをやると聞いています。朴委員から出された意見
についてはどうでしょうか。

朴委員 外国人市民代表者会議でもアンケートをやってはどうかという話は出
ています。外国人市民代表者会議の中でも施策を知っている人とそうでない人
で温度差があります。区民会議に応募したのは、日本人も含めて議論したいと
思ったからです。また、区によっても温度差があるので、川崎区から発信する
といいと思います。

原部会長 外国人市民代表者会議との関係については、区民会議の課題として
具体的に話し合うということでもいいのでしょうか。区民会議と外国人
市民代表者会議では目的が異なるのではないのでしょうか。

副区長 外国人市民代表者会議の方に来てもらう等については、区民会議として
目的をはっきりさせて、皆さんで方法を考えたらいいと思います。

知念委員 アンケートは日本人に対しても実施するのでしょうか。

副区長 外国人だけです。

事務局 別途、市民アンケートは継続的にやっています。

原部会長 今年度の課題について議論を深めていきたいと思います。「1.
高齢者・障害者・外国人市民という視点からの防災・防犯・防火」について
ご意見ありますか。

中村委員 その前に「だれもがいきいき暮らす部会」と「地域を育むまちづくり部会」の課題で納得できないことがあります。防災と子育てがバラけているので頭の中が整理できていないと思います。

畑委員 「だれもがいきいき暮らす部会」の1は「防災・防犯・防火」なので、「地域を育むまちづくり部会」が担当した方がいいのではないのでしょうか。また、2の「子育て」も「地域を育むまちづくり部会」ではないのでしょうか。「地域を育むまちづくり部会」の「世代間交流」は「生涯学習」だと思えますし、「自転車マナー」は「交通安全」ではないのでしょうか。タイトルの付け方が適切でないと思います。

事務局 前回の発言をそのまま載せているので、委員が言われたような整理をしていただければと思います。

畑委員 団体から推薦を受けているところもあるので、構成を整理した方がいいと思います。委員の中で、他の部会に行きたいという話も出ています。

中村委員 文化団体から推薦されて参加しているというのもあり、迷っています。1回目は両方の部会に出させていただきました。防災は重要課題だと思いますが、これまでもやってきたことが活かされていないという意見を聞きました。もう一度、よく考えたらどうかと思います。

事務局 全体会で取り敢えずソフトとハードということで分かれてもらい、前回も特にこの部会はこちらだから、と言わずに自由に考えていただいた結果、重複することになっています。部会間の調整はひとまずおいて、この10人が何をやりたいかを考えていただければと思います。

畑委員 これまで議論したことが活かされていないという意見があったということですが、どうでしょうか。積み残しがあるのかどうかを考えた方がいいと思います。

副区長 事務局としては防災での積み残したものはないと感じていますが、他の組織・仕組みもあるので、それらとの関係を考えながら検討していただければ

ばと思います。

中村委員 防災については、ゲリラ豪雨での浸水という恐れがあります。私としては、部会を超えて整理してはどうかと思います。

原部会長 例えば防災については、ハードについてもソフトについても1つの部会でやった方がいいというご意見ですね。

中村委員 そうです。資料1をたたき台として整理してはどうかと思います。

石渡委員 全体会の中で、テーマが重なっても平行してやっていくということをもとに認めたと思います。しかし、資料1のように整理されて出てくると矛盾を感じます。このため、全体会で検討する必要があると思います。

例えば「子育て」を「だれもがいきいき暮らす部会」でやっていこうとするのと、「地域を育むまちづくり部会」では具体的に考えているので、それを汲み取る必要があると思います。つまり、テーマを整理するとともに、委員の所属も整理した方がいいと思います。

畑委員 全体会でA分野、B分野を見て手を上げました。再調整が必要だと思います。

石渡委員 1は「市民という視点からの・・・」というのは防災についての視点ですね。ここからわかるように、こちらの部会は「いきいき暮らす」にこだわっています。もう一方の部会は「まちづくり」にこだわっていると思います。

朴委員 自分は「まちづくり」について興味がありますが、外国籍なのでこちらの部会を選んでいきます。ソフトをやってからハードをやるか、その逆かということかと思いますが、重なっていると、一度、みんなで集まって再確認と再出発をしてはどうかと思います。

畑委員 過去の区民会議では、どうしていたのでしょうか。

石渡委員 過去には課題が重なることはなかった。

ちねんいん ぼうさい かさ
知念委員 防災は重なっていました。

いしわたいん がいこくじん ぼうさい ぶかい とも い ぶかい
石渡委員 外国人の防災は子ども部会（すこやか・共に生きる部会）でやりました。また、本来の防災はまちづくり部会（みんなのまちづくり部会）で取り組みました。

ちねんいん ちいき はぐく ぶかい こそだ
知念委員 「地域を育むまちづくり部会」の「子育て」は、「まちづくり」というタイトルが適切ではないでしょうか。

はらぶかいちよう たとえ ぼうさい はーど ひとつ
原部会長 例えば防災については、ハードについてもソフトについても1つの部会でやった方がいいというご意見で、そのために全体会議をやった方がいいということですね。

なかむらいん まよ ひと おお おも
中村委員 迷っている人が多いと思います。

やまだいん しぼ ほう
山田委員 どちらかに絞った方がいいのではないのでしょうか。

ちねんいん れべる あいであ ぎろん
知念委員 （資料1の）a,b,c のレベルの7つのアイデアから議論してもいいですか。

じむきよく だい ぜろベース かんが おも ぶんや
事務局 たたき台なのでゼロベースで考えていただければと思います。分野の名前の付け方がふさわしくないということもあると思います。例えば、外国人や高齢者というテーマであれば、もう一方の部会のことは配慮しなくても結構だと思います。全体会でやるともう一度、同じような議論になるかと思っています。

いしわたいん たいとる くふう ひつよう おも く
石渡委員 タイトルを工夫する必要があると思います。「だれもがいきいき暮らす部会」の1番は「見守り活動」に変えてしまえばいいのではないのでしょうか。また、「地域を育むまちづくり部会」の1番は「まちづくり」や「環境整備」に、3番目の「世代間交流」も違う言葉にしてはどうでしょうか。例えば「町内会の活性化」。4番目は「交通安全」になるのではないのでしょうか。明日の部会で事務局に橋渡ししていただければと思います。そういう理解が深まれば、全体会を敢えてやらなくてもいいと思います。

なかむらいん わたし ていあん く ぶかい ばん ちいき はぐく
中村委員 私の提案は、「だれもがいきいき暮らす部会」の1番を「地域を育む

まちづくり部会」に移して、「地域を育むまちづくり部会」の3番を「だれも
がいきいき暮らす部会」に移すということです。

知念委員 7つを全部やれないので、やりたいことを出してはどうでしょうか。

原部会長 それでは委員のやりたいことについて、ご意見を出していただければ
と思います。

山田委員 災害時要援護者について前回、私から出しました。登録者は増えま
したが、町内会や民生委員の体制が整っていないと思いますので、それを
検討していただければと思います。

副区長 おっしゃるように現場では混乱しています。受け入れ体制が整ってい
ません。町内会や自主防災組織で要援護者の状況を把握してもらうことにな
っていますが、対応が難しく、これらについて調査を始めています。それ
らと重ならないように検討できればと思います。

畑委員 町内会長をやっている、うちの町内会では要援護者が20名、そのう
ち民生委員が18名知っています。「ひとり暮らし等高齢者見守り事業」と
「災害時要援護者」は重なる部分もあるので、分ける必要があるのかという気
もしています。

新井委員 私は安全・安心まちづくり推進協議会から推薦されていますが、
民生委員もやっています。災害時要援護者の制度は、民生委員には情報がな
いから問題だという声があって、名簿がわたるようになりました。東日本
大震災では、民生委員が亡くなっている事例が多く、「民生委員さん、まず、家族
を守ってください」と言われています。災害時要援護者については、町会の取
り組みが先ではないでしょうか。

原部会長 災害時要援護者については、行政でも調査しているということなの
で、区民会議で取り組むとすると、問題点を整理していただければどうかと思
います。

畑委員 これは行政の制度ではないでしょうか。

副区長 地域の協力がないと成り立たない制度だと思っています。

原部会長 今日、問題点が出たと思いますので、次回、整理して出してもらえればと思います。

森脇委員 1についてはそれぞれの団体が1人を他方面から見ていると感じます。なので、横の連携をどうするかが問題であり、それを解決していけばいいのではないのでしょうか。例えば、個人情報について相互連携できるようになればいいのではないのでしょうか。

新井委員 民生委員だけが背負わないというのが必要だと思います。

朴委員 町内会長だけでも背負いきれないと思います。障害者で体に問題はなくても災害時にパニックになることも想定されます。また、日中独居のこともあります。いろいろな団体が開かれた関係をつくっていく必要があると思います。

新井委員 町会での関わりが整っていないと民生委員は動けない状況です。

原部会長 「高齢者・障害者・外国人市民という視点からの見守り活動について、どのように団体間の連携をつくっていくか」という課題でいいのでしょうか。

畑委員 介護保険の対象は、今後は絞られていると思います。そのため、友愛チームのようなボランティア育成をやらないとお金のない人は生活ができなくなると思います。町内会、民生委員、友愛チームや、それ以外のボランティア活動について調査がされていないと思います。調査して、横のつながりをつくってはどうかと思います。川崎区の社協で調査しようと思っていますが、区民会議でもやるといいのではないのでしょうか。

石渡委員 区民会議として調査するのはいいと思います。1については、a. 災害時要援護者、b. 介護保険、c. 振り込め詐欺防止の3つの見守り活動についての調査・研究することと、町内会の活性化のための他組織との連携強化としてはどうでしょうか。

原部会長 子育てについて提案はありますか。

荒巻委員 子育て支援センターの絵本の読み聞かせでは、おばあちゃんが来ることも多くなっています。そこを通じた世代間交流もあると思います。

原部会長 子育て支援センターの方に来てもらって話を聞いて、世代間交流を検討するというところでどうでしょうか。

石渡委員 子育てフェスタや子育てグループ支援等の事業が個別にやられているのではないかと思います。できれば担当者に来てもらって、事業間の連携がどうなっているか等を聞けるといいのではないのでしょうか。

副区長 わかりました。

原部会長 防災出前講座の資料を出してもらいましたが、既存の施設などで集まっているところで啓発していくことが大事だと思っているので、それを課題にしてはどうかと思っています。

知念委員 「交流」については残っていますか。例えば高齢者と高校生との交流など。

畑委員 そういう事例があれば広げていけばいいのではないのでしょうか。これからボランティアを増やすためには、欠けているところを調査することが大事だと思います。

新井委員 小学校や中学校でも幅広くボランティアは行われていると思います。

原部会長 高校生の単位にもなっているので増えていると思います。3点については課題が出たのではないのでしょうか。

石渡委員 2番目の「c.公園の環境向上」については、「地域を育むまちづくり部会」に持っていった方がいいのではないのでしょうか。一方、世代間交流につ

いてはこちらで議論してはどうでしょうか。

原部会長 「地域を育むまちづくり部会」の1番は「まちづくり、環境整備」という名称変更を提案してもらえればと思います。

中村委員 3点については、議論が深まったので今日のところはいいと思います。

(2) 審議スケジュールについて

森脇委員 9月の専門部会を10月の全体会議と逆転させてはどうでしょうか。

事務局 スケジュールはあくまで標準的なものなので、順番入れ替えも1つのアイデアだと思います。明日の論議を踏まえて部会長等と協議させていただければと思います。

また、会議に担当者を呼んだり、必要な資料を用意したりということがあればお申し出いただければと思います。

原部会長 本日は今後の審議の仕方も含め、活発な意見が出て建設的だと思いました。お疲れさまでした。

4 その他

副区長 資料の作り方に問題はあったかもしれませんが、皆さんの意見をもとに資料をつくり、それを皆さんに活発に議論してもらい、収束したことを喜ばしく思っています。今後も問題がその都度出てくるかと思いますが、今後皆さんのご協力よろしくお願いします。

午後8時40分閉会

(以上)